

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|-------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 港湾空港課長 奥村 恭 | 電話番号 | 0852-22-5228 |
|----------|-------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---|---|--|
| 事務事業の名称 | 離島航路整備事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 隠岐島民と離島航路利用者 | |
| | (2) 意図 | 離島航路を安全で快適に移動できるよう、また、安定した物資の輸送ができるようにする。 | |
| 事業概要 | 離島航路の拠点となる隠岐の西郷港・別府港・来居港及び本土の七類港において、より安全で効率的な利用に向けて、岸壁等の港湾施設を整備する。 | | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 岸壁の整備率 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|--------------------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|------|
| | | | 目標値 | | 97.70 | 97.80 | 98.90 | 100.00 | |
| 式・定義 | 岸壁の実施済み延長／岸壁の計画総延長 | 実績値 | 97.40 | 97.70 | 97.80 | 97.90 | | % | |
| | | 達成率 | | 100.00 | 100.00 | 99.00 | | % | |
| 指標名 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 | | |
| | | | | | | | | 目標値 | 0.00 |
| 式・定義 | 実績値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | % | | |
| | 達成率 | | 0.00 | 0.00 | | | % | | |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|---------|---------|
| 事業費(b) (千円) | 143,561 | 323,290 |
| うち一般財源(千円) | 83,363 | 59,656 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・来居港では、内航フェリーが利用する岸壁の静穏度が悪く冬期を中心に振航がある。また、現在来居港のみフェリーへの乗降施設が未整備で、乗降客は船内の急な階段を利用している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

来居港での内航フェリーの就航率向上のため、H26年度末に岸壁改良工事に着手した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・岸壁改良工事の早期完成。
 - ・フェリー利用者の安全な乗降が十分確保されていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・フェリーへの乗降施設が未整備で、フェリーターミナルはバリアフリー未対応。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・港湾整備予算の確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

来居港において、今後は調査設計を終えた岸壁改良やバリアフリー化に向けたフェリーターミナル、乗降用通路の整備を急ぐよう、重点的に整備を進める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）